

タマリユウはユリ科の常緑多年草でリュウノヒゲ（ジャノヒゲ）の一種。

元々、ボーダーラインや土の流出を防ぐ目的として和風の庭に使われて

いましたが、最近は、草陰が雑草の生長を妨げ、踏圧にも強いことから、

グラウンドカバーとして、和洋を問わずに多用されるようになりました。

草丈は5～8cmくらいで、初夏に小さな淡紫色の花が咲きますが、

下向きに咲くので余り目立ちません。冬には小さな青紫の実をつけます。



✍️ お手入れメモ

タマリユウは、耐暑性・耐寒性があり日陰にも強く、土壌を選ばないので、生育が簡単です。砂利などとも相性抜群です。

＊開花時期 6～7月（初夏） ※冬に実がつきます。

＊特性 排水性のよい土壌なら日向～日陰まで適応。

＊水やり 年間を通して必要ありませんが植付け直後にひどく乾燥が続く場合は水やりをします。

＊その他 生育が緩やかで、葉も短いので、特に剪定は必要ありません。

